

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は2019年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。補助競技場が使用できない場合、本競技場の一部を開放することもある。その場合、競技役員の手配に従うこと。 ※ 競技場周辺での練習は禁止します。
- ・跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、競技開始40分前から行うものとする。 ただし、棒高跳は、競技開始60分前から行うものとする。練習は競技役員の手配に従い、危険防止に努めること。

3 競 技 場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は3日間とも7時30分予定とする。

4 招 集

- ・招集所は、100mスタート付近に設ける。 ※但し、棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場とみなし、出場を認めない。
- ・招集時刻は下記の通りである。
 - トラック種目・・・競技開始50分前から20分前まで（リレー種目は7を参照のこと。）
 - フィールド種目・・・競技開始70分前から40分前まで（棒高跳は90分前から60分前まで）
- ・招集要項
 - ①競技者は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカードを付けたユニフォームを持参し競技者係にチェックを受ける。
 - ②競技者は競技開始10分前に、各競技場所でユニフォームを着用した状態で最終確認を受けること。
 - ③代理人による最終確認は、認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を本人又は代理人が競技者係に申し出て了解を得ること。

5 ナンバーカード

- ・ナンバーカード（横浜陸協指定）は、2枚をユニフォームの胸部と背部につけること。ただし跳躍種目は、1枚を胸部または背部のみに付けるだけでもよい。主催者が配付した状態で使用し、切ったり折ったりしないこと。
- ・本大会申込時にナンバーカードを購入依頼した競技者は、本部まで取りに来ること。
 - ※トラック種目に出場する競技者は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方につけること。フィニッシュ後、係に腰ナンバーカードを返却すること。
 - ※男子5000m、10000m、5000mW、女子3000m、5000m、5000mWについては、招集所で特別ナンバーカードを受け取り、ユニフォームの胸部と背部につけること。その際、正規ナンバーカードを必ず持参のこと。競技終了後、係に特別ナンバーカードを返却すること。
- ・5000m以上の周回競技では、トランスポンダー用のチップ付き腰ナンバーカードを左腰につけること。

6 トラック競技について

- ・トラック種目では、すべて写真判定装置を使用する。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。
- ・予選の組走路順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・準決勝・決勝の組・レーンは、100mスタート後方の掲示板に掲示する。なお、レーン抽選に関しては、番組編成係で責任抽選をする。
- ・一般男子・高校男子5000m、高校女子3000mは段差スタートとする。
- ・タイムレース決勝の種目では、最高記録を参考にして番組編成を行うため、同一組に同じ所属の選手が入る場合がある。
- ・下記の長距離種目では、制限時間を設ける。制限時間内に最終周回に入っていない場合は競技を打ち切る。
 - 高校・一般男子3000mSC 15:00 高校男子5000m 21:00 一般男子10000m 38:00
 - 一般・高校の男女5000mW 35:00

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、競技開始1時間前までに招集所に提出する。(リレーオーダー用紙は招集所で配付) ただし、1日目の高校男女の4×100mR予選に関しては、50分前までとする。
- ・4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。
※2018年から4×100mRのバトンゾーンは30m。

8 決勝進出・順位決定

- ・タイムにより次のラウンドへ進出する際に、最下位で同タイムの競技者が出た場合は、写真判定を細部まで読み取り、1/1000秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定できない場合は抽選とする。
- ・タイムレース決勝の種目では、異なる組で同タイムが出た場合は、写真判定を細部まで読み取り、1/1000秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定できない場合は同順位とする。
- ・高校男子の5000m及び3000mSCはタイムレース決勝で行う。

9 フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・走幅跳・三段跳においてAピットはトラック側、Bピットはスタンド側とする。トップ8はABそのままに使用する。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

10 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーについては、検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものを競技者全員が使用できる。
(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前で行う。)

11 表 彰

- ・各種目3位まで表彰し賞状を授与する。
- ・高校の学校対抗は、合計得点により男・女それぞれ1位から8位まで表彰する。

12 抗 議

競技規則146条に従いおこなうこと。(同一日に次のラウンドがおこなわれる競技では正式通告後15分以内、それ以外の競技では30分以内におこなうこと)

13 そ の 他

- ・参加校(市内高校)の顧問は、必ず競技役員または補助役員として競技運営にご協力ください。
- ・ナンバーカード(横浜陸協指定)を紛失または忘れた競技者は、本部にて新しいナンバーカード(200円)を購入し使用すること。個人で作成したものは使用できない。
- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任で受けること。保険加入等、各自事故防止対策を行い競技会に参加すること。
- ・プログラムの訂正は、本部総務まですみやかに申し出ること。
- ・競技終了後、ゴミは各自持ち帰ること。
- ・本競技場スタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・競技運営に支障をきたす応援はつつしむこと。(特にフィールド競技中のグループ応援等)
また、競技場内での付添い及び応援は禁止する。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷き占有することを禁止する。
- ・貴重品は各自で管理し、盗難・紛失には十分注意すること。
- ・本部室の裏側通路の占有は、通行の妨げになるので禁止する。
- ・競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

☆学校受付（市内高校）について

- ・各参加校の引率顧問の先生は大会当日8：00～8：20の間に本部前にて学校受付を行ってください。
※顧問引率のない場合は、高体連試合参加規程の通り、出場は認めません。（一般の部に参加する場合はこの限りではない。）

☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、競技者、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
（※1、2、3レーンは周回練習に使用し、5、6、7、8レーンは流し等で使用する予定。状況によっては、変更の指示がある。）
- ・周囲の安全を確認し、競技役員への指示に従い事故防止に努めること。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止のために必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物（やり等）の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ等を使用しての練習は安全面から禁止とする。
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。